

市内の中学生が汗を流す

職場体験学習



▲事業所の方の指導を受ける生徒



▲ゴルフ場ではボール拾いを体験

【職場体験を終えて】生徒の声

- 子どもたちを安全に遊ばせるということは大変で、命をあずかることの大切さがわかった。(保育園)
- 社会の厳しさやマナー、あいさつなど礼儀が大事なことを学べた。接客業なのでお客さんのことを考えて、いつもコミュニケーションを取りながら楽しく仕事をやっている大人の人はすごいと思った。(美容院)
- インタビューをしたときに、「お年寄りの介助はとても大変だけど、利用者の方の『ありがとう』という言葉でまたがんばれる。」と答えてくださり、やっぱり働く大人はすごいなあと思った。(デイサービスセンター)

市立6中学校では、2年生が3～5日間の職場体験学習に取り組んでいます。今年は6月から11月にかけて972名の生徒が参加しました。この体験は、中学生が事業所にお世話になることにより、日頃の学校生活では見せないような生き生きとした表情を見せたり、働くことで自分の両親の働きぶりを再認識するなど、学校での授業では感じられないことを体験できる貴重な取り組みになっています。

平成19年度からはすべての中学校で5日間の職場体験学習を計画しています。中学生が働いている姿を温かく見守り、励ましの声をかけていただくとともに、より多くの事業所が中学生受け入れに協力いただきますようお願いいたします。



▲子どもたちも消火訓練を体験(深川区)

自らのまちは自らが守る!! 市内自治区で防災訓練



▲自主防災組織結成に向けた学習会(黒滝区)



▲消防署・消防団の指導のもと濃煙体験(山区)

10月2日(月)に土山町黒滝区で、7日(土)には水口町岩坂区で自主防災組織結成に向けての学習会が行われました。この学習会は、「自らのまちは自らが守る」防火意識を向上させ災害に強いまちづくりを旨とし開催されたものです。

また、10月1日(日)には甲南町深川区で、9日(祝)には水口町山区で自主防災の防災訓練がそれぞれ実施されました。これらの訓練は、昨年12月に起こった水道断水事故、また30年以内に起こる可能性が高いといわれて

いる東南海沖地震など、いつ発生するか分からない災害を想定したもので、区民の皆さん一人ひとりの防災意識の高揚を旨として取り組まれたものです。

消防署・消防団指導のもと、避難訓練、また消火訓練や放水訓練、濃煙体験を受けられ、最後に給食給水班等による炊出しの訓練も実施されました。

今後も、地域防災力の強化を図り、自主防災の意識向上とともに、自主防災活動の一層の推進に努めていただくことが期待されます。